

こぶしネット実行委員会 社会資源グループ 活動報告・今後の活動について

令和2年11月21日 報告者 松前知恵子(東淀川区薬剤師会)

今までの活動内容と実績

平成25年度：医療・介護・福祉関連事業所など社会資源
データーを収集。収集したデーターをメーリング
リストに掲載。

平成26年度：ホームページ開設に向けて検討。
年度末に「こぶしネット」ホームページを開設。

平成27年度：ホームページの内容について検討。

平成28年度：研修会等の情報をホームページへ掲載する為
のガイドラインを作成。研修会等掲載申込書を
作成。

ホーム

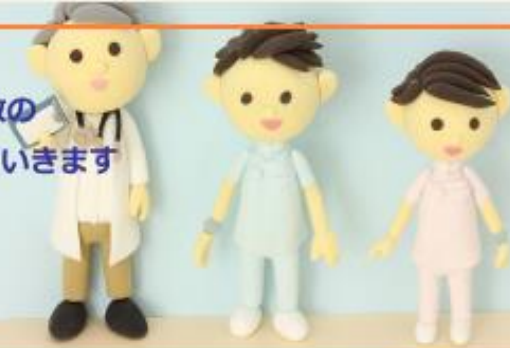
こぶしネットについて

活動内容

入会について

研修・講演会

東淀川区の医療と介護と行政の 顔の見える連携を図っていきます



在宅医療連携を考える会「こぶしネット」



在宅医療連携を考える会「こぶしネット」は、大阪市東淀川区の高齢者が抱える在宅生活を支えるために、地域での在宅医療を通じて医療・介護・行政の連携のありかたを考え、東淀川区の福祉を向上させ地域ケアの基盤を目的とする会です。

入会について

入会案内

入会申込書

賛成票

パンフレット

ダウンロード可能なパンフレットはこちら

もの忘れ？認知症？

項目	もの忘れ	認知症
原因	脳の機能低下	脳の機能低下
特徴	一時的な記憶障害	持続的な記憶障害
診断	医師による診断	医師による診断
治療	薬物療法	薬物療法
予防	生活習慣の改善	生活習慣の改善

認知症は脳の病気です。早期発見・早期治療が大切です。

認知症の予防には、生活習慣の改善が大切です。

認知症の予防には、生活習慣の改善が大切です。

認知症の予防には、生活習慣の改善が大切です。

認知症の予防には、生活習慣の改善が大切です。

認知症の予防には、生活習慣の改善が大切です。

● 新着情報

- 2020.10.21 第39回「東淀川区の在宅医療連携を考える会」(Web開催)のご案内 **New!**
- 2020.09.07 「これでいいの?!認知症対策(予防)一緒に学びましょう」のご案内
- 2020.05.18 感染症まん延期におけるヘルプステーションからみた新型コロナウイルス感染症対策の提案書 (ver.1.1)他
- 2019.07.01 「会則」「入会申込書」を更新しました

過去の更新履歴

● 連携関連資料

- 感染症まん延期におけるヘルプステーションからみた新型コロナウイルス感染症対策の提案書

こぶしネットホームページ掲載申込書(研修)

別紙のガイドラインをご確認の上、ご記入・お申込みお願いいたします。

研修名				
日時	平成	年	月	日 ()
申し込み期限	平成	年	月	日 ()
場所(住所)				
運営団体	<input type="checkbox"/> 主催 <input type="checkbox"/> 共催			
対象者				
定員	名			
参加費				
申し込み方法	FAX			
問い合わせ先	TEL			
担当者				
研修案内の添付	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※コアメンバー会議で参考いたします。			
サイトURL	http://			

同意欄

私は、別紙のガイドラインの内容に同意し遵守します。また、コアメンバー会議で決定した事項について同意します。

氏名

注意事項

- 掲載時期は申し込んだ月の翌々月となります。
- 掲載内容については申込書に記載の通りとなります。

事務局記入欄

/

可・否

平成29年度：医療・介護連携シート、入院時情報提供書をホームページに掲載。ホームページの普及啓発を検討。
大学ボランティア学生の情報収集。
障がい福祉サービスから介護保険サービスへのスムーズな移行について、ケアマネジャーへのアンケート調査を実施→障がい者団体がこぶしネットへ参加するきっかけにつながる。

平成30年度：サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの介護施設の現状について話し合う。「ケアと住まいの連絡会（住まいるネット）」が立ち上がり、こぶしネットへ参加。
社会資源の現状把握を目的としてあんしんサポートの現状、生活支援コーディネーターの活動内容についての情報収集。

医療・介護連携シート

発信日：平成 年 月 日

返信日：平成 年 月 日

ケアマネジャー⇒医師

医院・クリニック

診療所・病院

先生へ

下記のご利用者様の介護保険におけるケアマネジャーを担当しております。サービス提供はもとより、ご利用者様の身体的状況について、注意を要する事項等、先生よりご指導いただきたく存じます。先生のご都合をお伺いし、FAXにて連絡をさせていただきました。

ご利用者様

- 1 担当になった事のお知らせです。
今後の連絡方法についてご希望をお知らせください。
- 2 ご相談したいことがあります。
- ケアプラン作成時の意見について その他 ()
- 利用者の医療・介護病状の意見・指示について
- サービス担当者会議における意見または開催について
- 福祉用具貸与(購入)における意見について
- 医療系サービス導入における意見・相談について
- 3 連絡および報告

居宅介護支援事業所名 _____ 担当者名 _____
TEL _____ FAX _____
担当者携帯番号 _____ E-mail _____

※なお、この紹介を行うこと及び先生からの情報提供を頂くことについては

- ご本人・ご家族の同意を得て、ご連絡しております。同意した日：平成 年 月 日
- ご本人・ご家族の同意を得ておりませんが、ご本人のために必要ですのでご連絡いたします。

医師⇒ケアマネジャー (複数回答可)

- 【連絡方法】 TEL FAX 面談 E-mail 郵送
- 【曜日・時間帯】 診療時間中いつでも可 メールアドレス
- 希望曜日と時間帯
- 月 火 水 木 金 土の(: ~ :)時頃
- 【連絡事項】ご本人に関する事項やその他連絡方法がございましたらご記入ください。

医療機関名 _____ 主治医 _____

※お手数ですが、上記項目についてご記入いただき、返信いただきますようお願いいたします。

入院時情報提供用紙 【居宅介護支援事業所等 → 病院】 東淀川版

※中 介護士の情報を提供いたします。入院のケアや退院後に実施したいケア等について。

氏名	様	性別	男・女	生年月日	明・大・節 年 月 日	歳											
要介護度	新規申請中・区変中 更新中	要介護 1	2	要介護 1	2	3	4	5	障がい等の 認定	なし	療養() 療養()	療養() 療養()					
障がい高齢者 日常生活自立度	自立	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	認知症高齢者 日常生活自立度	自立	I a	I b	II a	II b	IV	M
病名・既往歴																	
食事	自立	見守り	要介助	介助内容:													
食形態	普通食	その他	形態:														
口腔清潔	自立	要介助	要介助	介助内容:													
排泄	自立	見守り	要介助	介助内容:													
排泄方法	トイレ	ポータブル	おむつ														
入浴	自立	見守り	要介助	介助内容:													
入浴場所	自宅風呂	通所	訪問入浴														
移動	自立	見守り	要介助	介助内容:													
移乗	自立	見守り	要介助	介助内容:													
衣服の着脱	自立	見守り	要介助	介助内容:													
夜間の状態	良好	不穏	状態:														
介護上、特に支障となる 点、注意すべき点等																	
住環境	一戸建て/集合住宅 廊・エレベーター(有/無)																
室内移動・外出・排泄・入 浴場所等での住環境上の問 題点及び住宅改造の必要性																	
家族構成	単身/高齢者世帯/同居あり ()																
特に留意すべき点																	
介護士	氏名	様	性別	同居・別居 (どちらかに○をつけて下さい)													
氏名	様	TEL	()	-													
介護士	氏名	様	性別	同居・別居 (どちらかに○をつけて下さい)													
氏名	様	TEL	()	-													
介護に関する本人・家族の意向、生活機能が入院日より低下した場合には生じると予想される問題点、退院に際しての留意点等																	
退院期程・支援の必要性(あり、なし)																	
かかりつけ医																	
医療機関名											主治医						
居宅介護支援事業所	ケアプラン作成(有/有) ※ケア1の利用状況については添付のケアプランを添付ください。																
事業所名											担当介護支援専門員						
住所											TEL () - FAX () -						

作成年月日 平成 年 月 日

平成31年度：ホームページの内容について検討

(令和元年) (各関係団体のイベント情報等を掲載はどうか)

生活支援コーディネーターが作成する「お役立ち地域情報誌」にこぶしネットの活動を掲載することになり、内容について検討し完成した。

令和2年度：社会資源Gの活動・目標について再検討。

新型コロナ禍において困っていることや対策などを各団体、事業所ごとに情報収集し社会資源Gで取りまとめ、こぶしネット内で情報共有できることを目標とした。情報収集の方法としてMCS相談コーナーを利用し、社会資源Gで質問・相談を投げかけ、各団体の回答・対応を取りまとめた。

1. コロナ禍において各団体・事業所等が困っていること

包括

- ①ケア会議や家族会など、人が集まることについての**活動方法**
- ②訪問時の**感染対策**
- ③包括内で**クラスター発生時の対処方法**

理学療法士会

- ①会議や講習会の**実施方法**について現在も難渋している。
- ②講習会など技術指導などの講師または**参加者同士**が**接触**する内容での実施は対応が難しい状況。

薬局・薬剤師会

- ①患者さん同士の**距離を保つこと**が難しい場合ある。コロナ疑いの患者さん来局時の**対応**に苦慮。
- ②薬剤師会では**研修会が開けず**薬剤師が習得する**各種認定が取れない・更新できない**状況。

淀川キリスト教病院地域医療連携センター

- ①退院前カンファレンスが**対面でできない**。病棟カンファレンスも**縮小しているため**、**退院調整が十分にできないまま、在宅につなげていること**。
- ②**面会禁止**のため、**家族の状況や介護能力の把握、介護指導が難しい**。

訪問看護ステーション

- ①認知症の利用者への**感染予防対策**が大変。

ランチ

- ①サ高住等が通所介護事業所を利用している方の**行動制限**を行っている。通所介護サービスを受ける必要性のある利用者の利用継続を訴えても、入居施設判断で一律に**行動制限(外出禁止)**され訴えを聞き入れてもらえなかった。

・感染対策(クラスター発生時の具体的な対応)
・感染対策をしながらどのように活動していくか
・研修会、会議の中止
・面会中止等による情報収集、指導が難しい
・認知症の方への対応
・行動制限(外出禁止)

2. 困っていること等についての取組や対策

包括

- ①**換気**と広い部屋の準備、備品の**消毒**、入室者への**手指消毒と検温**。
- ②職員側の**感染対策(フェイスシールド、手袋使用)**は行うことができたが、利用者に理解を促すことは難しい場面が多かった。
- ③包括内の**午前・午後**の机の周りの**消毒と検温、手指消毒の徹底**。

理学療法士会

- ①会議等委員のみの**活動は、メールやZoom**を利用して対応。
- ②同職種多職種の**研修会**はZoomを利用した開催が可能か検討中。
- ③日本理学療法士会の**マニュアルに沿って活動**している。大阪府理学療法士会からも**自宅**でできる**運動が公開**されている。

薬局・薬剤師会

- ①**換気・消毒**をして感染拡大を防ぐしかない。
- ②薬剤師会では**オンライン研修**での研修によって認定取得できるようになる方向。

淀川キリスト教病院地域医療連携センター

- ①退院カンファレンスは参加人数を**最小限**にしている。病棟カンファレンスは、**電話やカルテ記載**で情報をできるだけ共有し対応している。
- ②**具体的対策は難しい**、**いずれの課題も、抜本的な対策はなく**、実際に退院してからの調整をお願いせざるを得ない状況も多く、悩ましい。

訪問看護ステーション

- ①多職種との**情報共有と連携**が必要である。

・スタンダードプリコーション
・PPE
・ICTの活用 Web研修
・情報共有の工夫

3. 取組や対策でどのような成果があったか。

包括

- ①ある程度安心感を持って、**小さい会議は開けるようになった。**
- ②現状では職員の中で感染者はなく、**感染症対策が有効**であったと思う。認知症の対象者が多く、マスク着用などの理解を持ってもらうことが難しい場面が多いので、リスクはつねにある。
- ③実際に包括内で感染者やクラスターが発生した場合、どのように対処すればいいか不安が大きい。大阪市の指針では「法人内の他部署が対応」となっているが、非現実的で難しいのではないかと思う。

理学療法士会

- ①実質休止の状態であり、他団体の活動方法や対策をおしえてほしい。

薬局・薬剤師会

- ①薬局で感染が広がったという話はない。**個々の薬局の頑張り**で感染拡大は防げていると思う。
- ②認定取得のための単位は、全国の**研修会がオンライン**になったので、これまでであれば**距離的にいけない研修も受けることができる**のはプラスではないかと思う。

淀川キリスト教病院地域医療連携センター

- ①高齢の方の誤嚥性肺炎や尿路感染症などでは、新型コロナ感染症との鑑別が必要で、結果判明するまでは疑似症患者としての対応となり、人的・物的資源がかかることがある。**現状を続けるしかないと思われる。**

訪問看護ステーション

- ①効果があらわれるまでは少し時間がかかると思われる。

・感染者、クラスターが発生していない。
・各々の感染症予防対策の効果。
・感染予防を徹底していても常に不安。
・オンライン研修の充実

今後の活動としては、今回の結果を踏まえ、各団体毎にもう少し細かい内容についての取組み等を情報収集し、その内容を多職種へ発信し情報共有できるように。